

トップメッセージ



経営管理委員会会長
小野寺 敬 作



代表理事理事長
菅 原 和 則

みなさまには、平素より私ども岩手県信用農業協同組合連合会（愛称「JA岩手県信連」）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当会の業務運営方針や令和2年度の業績および業務内容をご紹介するため、ディスクロージャー誌「JA岩手県信連の現況」を作成いたしました。ぜひご高覧いただき、当会に対するご理解を深めていただければ幸いです。

当会は昭和23年の創立以来、農業専門金融機関ならびに地域金融機関として、岩手県農業の維持・発展および地域のみなさまに食の安全と安心をお届けすることを金融面からサポートするとともに、地域のみなさまの生活向上に資するべく幅広い金融サービスの提供に努めてまいりました。

さて、令和2年度の国内経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」という）の拡大による緊急事態宣言等により、経済活動が大幅に縮小し、内閣府が発表した令和2年度の実質GDP（速報値）はマイナス4.6%とリーマンショックが起きた平成20年度のマイナス3.6%を超える下落となりました。

農業を取り巻く情勢においても、新型コロナウイルスの影響により牛肉や牛乳、花卉の需要が大幅に減少したほか、米の価格が下落し、農業者およびJA経営への影響が甚大となりました。また、技能実習生を含む外国人新規入国が停止していることから、生産現場における人手不足が深刻となるなど、影響は多岐にわたっております。さらに、県内においては、記録的な大雪による農業施設被害が生じており、金融支援等の対応を継続していく必要があります。

こうした情勢下、当会は第18次経営3か年計画の2年度目として、JAバンク岩手の持続可能な経営基盤の確立・強化に向けて、担い手経営体等への出向く体制づくりの再構築や、営農経済事業の収益力向上・収支改善、また店舗・ATM再編および再編後の組合員・利用者の利便性・満足度向上等に向けたJAの取り組みを支援いたしました。

今後とも、「農家組合員の所得増大と農業生産の拡大」、「地域の活性化」、「協同（結びつき）の更なる強化」と「持続可能なJA基盤の確立・強化」に向けて、JAグループの一員として取り組んでまいりますので、なお一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月

経営管理委員会会長 小野寺 敬 作
代表理事理事長 菅 原 和 則